

(一財) 全国盲導犬協会 平成 25 年度事業報告書

1. 通常業務

以下の業務は、当協会の通常業務として日常的、もしくは随時頻回におこなったものである。したがって、具体的な日時や回数は記載しない：

- ・ 保有犬の飼育管理
- ・ 保有犬の健康管理（通院等含む）
- ・ 盲導犬候補犬の訓練
- ・ 繁殖家のリサーチ、訪問視察、候補犬（仔犬）の確保
⇒13頭の候補犬（盲導犬、もしくは繁殖犬）を確保（＝現在の保有犬数）
- ・ 仔犬飼育奉仕者、進路変更犬引き取り希望者、引退犬飼育奉仕者の募集、面談、訪問飼育指導
⇒仔犬飼育 11 名、進路変更犬引き取り 8 名、引退犬飼育 4 名、一般作業 3 名の登録（＝現在の登録者数）
- ・ 歩行指導員研修生の教育（当協会の訓練士・歩行指導員養成計画書に基づく）

2. 特別業務

以下の業務は、上述の通常業務に付随する業務として定期的、もしくは臨時におこなったものである。

2.1 職員研修

職員の知識向上を目的とし、現役の盲導犬使用者を招き内部学習会を 2 回開催した。

2.2 盲導犬貸与希望者への施設説明会

現役盲導犬使用者を含む視覚障害者を対象として、当協会の施設の説明会を 1 回開催した。

2.3 学習会の開催

盲導犬普及啓発事業の一環として、協会内での学習会を 16 回開催した。対象（参加者）は次のようである：一般希望者、ひたちなか市職員、ライオンズクラブ会員、ガールスカウト連盟役員、社会福祉協議会関係者、その他団体。

2.4 出張講話

盲導犬普及啓発活動の一環として、視覚障害と盲導犬についての講話、ならびに盲導犬のデモンストレーションを主催者から依頼を受け 10 回おこなった。主催者は次のようである：幼稚園、小学校、高等学校、社会福祉協議会、企業、ライオンズクラブ支部、その他。

2.5 写真展の開催

盲導犬普及啓発活動の一環として、水戸京成百貨店にて盲導犬についての写真展を 1 回開催し（平成 25 年 8 月 8 - 13 日）、3500 名程が来場した。

2.6 資料配布

財源確保の充実強化の目的のため、上述の学習会、出張講話、写真展の際には、当協会に係る資料、並びに盲導犬育成事業全般に係る資料を作成配布し、当協会を含む盲導犬育成事業全般に対する経済的支援の必要性を理解してもらえるよう努めた。また、資料を配布する目的のため、他団体の主催する催し

ごとに2回参加した。

2.7 街頭募金活動協力

財源確保の充実強化のため、当協会支援ボランティアグループ「ローリー基金」が主催する街頭募金活動に24回（24日）職員と保有犬を派遣した。

2.8 バザー開催協力

財源確保の充実強化のため、「ローリー基金」が主催するバザーに11回共催として参加した。

2.9 募金型自動販売機の増設支援

飲料販売会社「ライズ」とともに募金型自動販売機の設置台数増大に努めた。

⇒新規に15台が設置された（＝現在の設置台数）

2.10 募金箱の配布

財源確保の充実強化のため、募金箱を制作、26個を配布した。

3. 寄附金の使途報告

3.1 訓練用車両の購入

水戸ライオンズクラブ様からの寄附金 1,780,000 円にて。

3.2 犬具、居室用什器備品及び事務局の事務機器購入

かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソン大会事務局様からの寄附金 671,125 円にて。

3.3 災害時緊急用として使用可能な太陽光発電システム及び井戸掘削・汲上げポンプ設置

一般の皆様方からの寄附金にて。

4. その他

4.1 国家公安委員会による指定

平成26年3月27日、国家公安委員会より「道路交通法施行令第8条第2項の規定により盲導犬の訓練を目的とする法人」としての指定を受け、盲導犬協会としては全国で11番目の指定法人となった。

4.2 竣工式の開催

平成25年9月12日、当協会の訓練施設の竣工式をとりおこなった。

4.3 役員会の開催

平成25年6月28日に第3回（平成25年度第1回）、12月19日に第4回（平成25年度第2回）の理事会と評議員会を開催した。

4.4 他団体主催の行事等への参加

水戸ライオンズクラブの訓練用車両贈呈式（平成25年11月20日）に出席するなど、目録等の受け取りのため支援団体主催の催しごとに出席した。

以上